大分合同新聞ワークシートのご利用について

本ワークシートは大分合同新聞社と大分県NIE実践研究会が共同し、授業で役立つ記事を厳選して作成しました。PDFデータをダウンロードしてご利用ください。
なお、以下の点にご注意いただきますようお願いいたします。

- ◘ 学校の授業や家庭学習以外の目的に使わないでください。
- ◘ 記事の体裁を変えないでください。
- ◘ ワークシートの記事の著作権は大分合同新聞社に帰属します。
- ◘ 必ず「©大分合同新聞社　教育目的以外の無断転載・複製および頒布は禁止します」の箇所は表示してください。

大分合同新聞
2022年12月29日（木）朝刊 11面

「河野さん『鉄人』認定へ」

大分合同駅伝終了で幻に…

河野さん「鉄人」認定へ

速見郡チーム 来月7・6キロ走破企画

【速見】幻のはずだった「鉄人」認定を、今年、野上保さん（68）＝大分市舞鶴台＝が目指す。来月7日と6日、速見郡内を合計13・1キロ（ハーフマラソン）と、6・7キロ（ハーフ）を走る。「大会はなくなったが、もう少しがんばっておられるかがたい」と話している。

市日は速見郡チームの一員として、同郡内の山間部を中心に、ランニングを続けてきた。「同郡内は坂が多く、シニアの年齢になっても一周（13キロ）走れるようになった。関わりがあるチームが、『速いし足腰が強くなった』と言ってくれるのが、楽しみだった」と話す。

2022年は新型コロナウイルスの影響で、同郡内の自治体の大会が中止になったため、チーム結成に踏み切った。「同郡内は坂が多いし、同じ道を走っても、毎年、タイムが違うから、面白かった」と振り返る。

野上さんは、「大会がなくなったのは残念だが、練習はやめなかったから、ちょっとでも力をつけようと、走りこんだ。この経験を生かして、来年は大会が開かれたら、参加したい」と意気込んでいる。

県内一周大分合同駅伝競走大会で力走する河野さん。通算で1,000キロ達成の瞬間まで残り7.6キロに迫っていた

【対象】小学校高学年、中学

【教科・領域・単元名など】総合の学習（地域学習）、道徳

【授業例】

〔問い①〕河野さんが大会通算で1,000km走破までにはあと何キロ必要ですか

〔問い②〕河野さんが参加していた大会はどのようなものですか

大分合同新聞社